

令和2年度事業報告

- 1 「将来構想～今後10年の展望～」(平成24年度策定)の基本方針に基づき、この将来構想の実現に向けての重点項目である「競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化、財政基盤強化、県立スポーツ施設整備の要望」について、本会加盟団体を始め、新潟県並びに関係機関・団体等との連携強化・協働を着実に促進した。

また、「新潟県スポーツ推進プラン」の実現に向け着実に推進した。

- 2 新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期となった、今年7月に開幕を迎える2020東京オリンピックを含むオリンピックに、本県から出場し活躍する選手の輩出に向け、新潟県、市町村、企業、競技団体等と連携しながら選手の発掘・育成等を推進し、新潟県の競技水準の向上とスポーツの普及・振興を図るとともに、関係機関・団体と連携し、開催に向けてのプロジェクト・イベント等の推進に協力した。

また、障がい者スポーツの普及・振興に寄与するため、関係機関・団体等との連携を図った。

- 3 地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくりをより充実するため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心として総合型地域スポーツクラブの充実、スポーツによる地域活性化の促進を図るとともに、国の第2期スポーツ基本計画等に基づき創設される「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」及びその運営主体となる中間支援組織に関する準備を進めた。また、幼児期からの運動習慣アップのための支援の推進及びスポーツを通じて次代を担う青少年の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成・充実に取り組んだ。

- 4 スポーツ庁が制定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を踏まえ、コンプライアンスの徹底やガバナンス強化等クリーンでフェアなスポーツの推進を加盟団体等と取り組み、新潟県のスポーツ・インテグリティを高め、併せてスポーツ文化の発展に取り組んだ。

また、本会のガバナンスコード遵守状況について年度末に公表した。

5 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者（令和3年度からの5年間についても指定済み）として、適切かつ効果的な施設管理を行うとともに、競技水準の向上及び健康づくり活動を推進した。

また、魅力ある施設として県民に認識知されることで、施設の「賑わい」「活性化」を目指した。

※数字は決算額。（ ）は予算額

A 公益事業

I 競技力向上対策事業の推進 163,355,406円（214,215,000円）

本県の競技水準の維持・向上を図るため、県、加盟団体を始めとする関係機関・団体との緊密な連携・協力を目的とした諸会議を開催するとともに、各種強化事業を実施した。

1 競技水準向上対策運營業務 33,469,821円（33,487,000円）

本県競技水準向上対策の方針について競技団体等関係者との共通理解を図るため諸会議を開催した。

会議名	期日	会場
国体実施競技団体理事長・強化総括責任者会議 第1回 第2回 第3回	令和2年6月28日 令和2年11月14日 令和3年3月13日	新潟ユニゾンプラザ ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第75回国民体育大会監督会議・結団式	令和2年9月5日	開催中止
オリンピック選手育成検討委員会	令和2年5月15日	書面決議

※以下、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した事業は、開催中止と表記する。

2 競技水準向上対策事業 110,801,649円(160,728,000円)

(1) 新潟スーパージュニア養成事業

ア 新潟ジュニア育成事業 16,528,407円(36,983,000円)

将来の国体での少年種別の競技力の向上と国内トップ選手の育成を図るため、ジュニア選手(小学生・中学生・高校生)を対象として計画的・継続的な強化合宿を実施した。(30競技)

イ 育成指導者配置事業 36,691,217円(38,336,000円)

競技力の向上を図るため、全国トップレベルの競技実績を有する育成指導者を市町村スポーツ・体育協会等に配置し、国体選手やジュニア選手に対して指導を行った。(6競技10名)

(2) 強化事業

ア 国体強化事業 45,207,903円(70,020,000円)

競技力の向上を図るため、国体選手及び次期候補選手の強化活動を支援した。(28競技)

イ 強化スタッフ支援事業 799,878円(2,871,000円)

国体選手や次期候補選手のスポーツ障害の予防・コンディショニングの調整・技術指導等を行うため、スポーツドクターやトレーナー、コーチ等を活動現場や国体へ派遣することとしていたが、第75回国民体育大会の開催が延期されたことから、日常的に行う強化練習等を対象として実施した。(15競技)

ウ 社会人・企業スポーツ指定強化事業 1,860,000円(2,085,000円)

社会人スポーツの振興を図るため、新潟県社会人スポーツ推進協議会においてその方策を協議するとともに、社会人・団体のクラブが行う強化活動を支援した。(企業スポーツ強化支援助成6企業・クラブチーム強化支援助成3クラブ)

エ 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営 413,000円(413,000円)

県内における社会人スポーツの推進と優秀な選手等の雇用を図るための方策を検討するとともに、会員企業への採用調査や競技団体への優秀選手就職希望調査等により、選手の定着を図った。

会議名	期日	会場
総会	令和2年6月23日	書面決議
幹事会		
第1回	令和2年6月17日	書面決議
第2回	令和3年3月15日	新潟テルサ

オ トップコーチ等招へい事業 1,264,000円(2,000,000円)

オリンピックや国内で活躍する選手の育成と指導者の資質向上を図るため、国内外のトップコーチを招へいし、指導を受けた。
(2競技)

カ 社会人スポーツ雇用支援事業 2,500,000円(2,500,000円)

優秀な社会人選手や指導者が本県を拠点に活動できるよう、雇用を受け入れた企業に対して支援を行った。(4団体11名)

キ コーディネーター配置事業 5,537,244円(5,520,000円)

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためコーディネーターを配置した。

3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業

19,083,936円(20,000,000円)

強化指定選手等の国内外の遠征等、強化活動に対して支援を行った。
(10競技 49名)

II 国民体育大会関連事業・業務の推進 180,004円(1,405,000円)

第75回国民体育大会の開催が延期となったことにより第41回北信越国民体育大会の開催が中止となった。また、第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会も開催が中止となった。

なお、第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会への本県選手団の派遣は、感染防止の観点から取り止めた。

<第75回国民体育大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	149.5点	7位	50.0点	15位
本大会	(開催延期)			

※男女総合成績及び女子総合成績は、本大会の開催が延期されたことにより順位なし。

< 第 76 回国民体育大会冬季大会成績 >

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	20.0 点	27 位	10.0 点	25 位

※得点は、スケート・アイスホッケーの参加点のみ。

※スキー競技会は、開催中止となったため得点及び順位なし。

1 国民体育大会への本県選手団派遣

大会名	会期	開催地	派遣人数
第 75 回国体本大会	令和 2 年 10 月 3 日 ～13 日	鹿児島県	開催延期
第 76 回国体冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	令和 3 年 1 月 27 日 31 日	愛知県	派遣取り止め
第 76 回国体冬季大会 スキー競技会	令和 3 年 2 月 18 日 ～21 日	秋田県	開催中止
第 76 回国体冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和 2 年 12 月 5 日～6 日	長野県	31 名
第 76 回国体冬季大会 フィギュア競技会予選会	令和 2 年 12 月 5 日～6 日	兵庫県	6 名
第 41 回北信越国民体育大会	令和 2 年 8 月 21 日～23 日	富山県	開催中止

2 国体ユニフォーム購入補助事業

国民体育大会の延期・中止等により選手団ユニフォームの購入がなかった。

3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

国体選手・指導者に対し、アンチ・ドーピングの教育・啓発活動の一環として日本スポーツ協会が作成した啓発リーフレットを各競技団体やスポーツドクター協会等に配布した。

Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進 6,369,944円(3,067,000円)

1 新潟スポーツムーブメント推進事業

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、加盟団体等を対象としたコンプライアンスやハラスメント予防等に関するスポーツ・インテグリティ研修会を実施するとともに、スポーツ情報の提供、表彰の実施、スポーツ団体への支援、市町村スポーツ（体育）協会との連携強化を図った。

(1) 加盟団体連携会議の開催

事業名	期日	会場
加盟団体連携会議	令和2年4月20日	開催中止

(2) スポーツ・インテグリティ研修会の開催

事業名	期日	会場	参加者数
スポーツ・インテグリティ研修会			
第1回	令和2年10月20日	オンライン形式 により実施	22名
第2回	令和3年1月21日		26名
第3回	令和3年3月5日		27名

(3) スポーツ情報の収集発信の推進

本会ウェブサイトをリニューアルし、本会の諸活動や加盟団体等の情報発信と公益法人としての情報公開に努めた。

(4) スポーツ功労者等の表彰

ア 表彰選考委員会

会議名	期日	会場
表彰選考委員会	令和2年11月13日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

イ 表彰者受賞者

表彰名	氏名 (敬称略)	所属 / 推薦団体	表彰式 期日/会場
スポーツ功労者賞 2名	渡邊 強	(一財)新潟県水泳連盟 新潟県ウエイトリフティング協会	令和2年 12月12日
	徳橋 政貫		
優秀指導者賞 3名	保坂 勉	(一財)新潟陸上競技連盟	ホテル イタリア軒
	小林 要	(一財)新潟陸上競技連盟	
	高橋 哲也	(公財)新潟県スキー連盟	

公認スポーツ 指導者賞 2名	小林 琢也 山下 大輔	(一財)新潟県水泳連盟 (一財)新潟陸上競技連盟	
優秀競技者賞	55名	3団体	

(5) スポーツ振興支援事業の実施

スポーツ団体が実施するスポーツ事業の開催を支援することで、本県におけるスポーツの普及・振興を図るため10団体に補助した。

(6) 「スポーツ応援！にいがた結プロジェクト」事務局業務の実施

新潟のスポーツの灯を絶やさないため、新型コロナウイルス感染拡大の影響により収入が得られず厳しい状況にあるスポーツ団体等に対し、クラウドファンディングを活用して県民の皆さまからの応援を募るスポーツ版の「にいがた結プロジェクト」（総合型地域スポーツクラブ対象）に関する募集、告知・広報、寄付金管理、礼状発送及び関係団体との連絡調整等の事務局業務を実施した。

(参加クラブ数 32)

区 分	寄付額
クラウドファンディング (CF)	1,270,446円
企業・個人からの寄付 (CF以外)	2,190,010円
クラブへの直接寄付	463,000円
寄付額合計	3,923,456円

(7) 「子どもの運動不足解消のための運動機会創出プラン アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP) を活用した運動遊び促進事業」の実施

新型コロナウイルスの感染リスクに備えた一斉臨時休校と全国的なスポーツイベントの中止に起因する子どもの運動不足による体力の低下を解消するために、日本スポーツ協会委託事業 (国庫補助事業) として、市町村スポーツ協会、スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブと連携して運動遊びに関する体験・普及イベント (9事業) を実施した。

2 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として愛媛県において開催の「日本スポーツマスターズ2020愛媛大会」(実施競技13競技) は、開催中止となった。

大会名	会期	開催地	参加者数
日本スポーツマスターズ 2020 大会	令和 2 年 9 月 18 日 ～22 日（中心会期）	愛媛県	開催中止

IV 公認スポーツ指導者の養成 552,154 円（2,200,000 円）

1 公認スポーツ指導者講習会（コーチ I）の開催

（公財）日本スポーツ協会公認指導員養成講習会専門科目を開催した。

<専門科目>

開催競技	期日	会場	参加者数
軟式野球	令和 2 年 11 月 21 日（土） ～12 月 5 日（土）	HARD OF ECO スタジアム新潟	31 名
バレーボール	開催中止		
水泳（競技団体独自）			

2 スポーツ指導者研修会の開催

（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進及び指導者の連帯感を深め、組織的活用を図るため開催を予定していたが、開催を中止した。

研修会名	期日	会場
新潟県スポーツ指導者研修会	令和 3 年 2 月 9 日	開催中止

V 広域スポーツセンターの運営等 16,004,646 円（16,209,000 円）

「新潟県スポーツ推進プラン」（平成 28 年 3 月策定）に基づき、県民一人一人が日常生活の中にスポーツを取り入れる社会の実現を図るため、新潟県が本会内に設置した「新潟県広域スポーツセンター」の事業を推進した。

1 新潟県広域スポーツセンターの事業推進等

13,195,594 円（13,430,000 円）

事業推進拠点としての「新潟県広域スポーツセンター」の事業並びに新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、新潟県体育施設協会の事業及び運営、各種調査・統計資料作成などの関連業務を行った。また、クラブの安定化等に向け新潟県が策定した「新潟県総合型地域スポーツクラブの指針」の運用を図った。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援及び総合型クラブの質的向上と連携強化を図るための諸事業を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症に伴うクラブ運営等の実態調査を実施し、「スポーツ応援！にいがた結プロジェクト（クラウドファンディング）（再掲）事務局業務を通じてクラブを支援した。

ア 研修会等の開催

事業名	期日	会場	参加者数
市町村・総合型クラブ合同研修会	令和2年4月23日	新潟ユニゾンプラザ	開催中止
新潟県総合型地域スポーツクラブ研修会	令和3年3月19日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター及びオンライン	30名

イ 新潟県総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業の実施

地域の各分野・団体との連携・協働の取組についての経験が不足している新潟県総合型地域スポーツクラブの実情に応じ、有識者・専門家の支援によって経営力の強化を図ることを目的として、事業審査委員会で4クラブ（NPO 法人さんぽくスポーツ協会、三条市総合型地域スポーツクラブりんぐる、NPO 法人ユースポ！、NPO 法人Tap）を採択し、第1年次の事業を実施した。（2年間継続事業）

また、令和3年3月24日にアドバイザー（大学教員・中小企業診断士）及び関係者による「支援・育成会議」を開催した。

(2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施

県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、東京オリンピック・パラリンピックの開催によるスポーツに対する関心の高まりを背景に、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくり等への支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進するため、指定3団体（NPO 法人ネージュスポーツクラブ、松之山スキー協会、南魚沼市）と連携し、第2年次の事業（3年間継続事業）を実施した。また、令和3年3月16日に有識者及び関係者による「連携促進会議」を開催した。

指定団体	活動概要（コンセプト）
NPO 法人ネージュ スポーツクラブ （十日町市）	ユニバーサルスポーツを活用して、健康で、互いを認め、共に支えあい、それぞれの力が発揮できる、活力ある社会である「共生社会」づくりの実現を推進する。
松之山スキー協会 （十日町市）	豪雪地帯の天然雪（JAPOW）の恵みを雪国松之山のアドバンテージとして活かし、地域プライドを醸成し、観光交流と関係交流（雪国留学等）による松之山ならではの地域産業・地域教育の活性化を目指す。併せてスキー競技者の育成にも力を入れる。
南魚沼市	自転車を活用した「まちづくりプロジェクト」。自転車を軸に、地域資源を活用して南魚沼の課題にみんなで挑戦する。スポーツの力で地域を元気にし、南魚沼に自転車文化を根付かせる。

(3) 地域スポーツ人材養成事業の実施

持続可能で健全なスポーツ団体の運営等を支える人材育成や人材の高度化を行うとともに地域スポーツ関係者の交流促進を図り、住民等が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備を進めることを目的としたセミナーについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン形式により実施した。

期日	演題	参加者数
令和2年12月10日	スポーツ活性化のために今活用すべきSNSセミナー最新版（基礎編）	54名
令和2年12月23日	スポーツ活性化のために今活用すべきSNSセミナー最新版（応用編）	49名
令和3年3月10日	スポーツのチカラで にいがたづくり～杵から飛び越える発想の仕方～	28名
令和3年3月17日	スポーツ団体における後継者育成の必要性とは	23名

(4) スポーツ情報の収集発信

新潟県広域スポーツセンターウェブサイトを運用し、様々なスポーツ情報の収集・発信を行った。また、「新潟県スポーツの現状」などの統計資料を作成・公開した。

(5) その他関連業務の実施

国（スポーツ庁）の「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」等を始め、新潟県体育施設協会事務局業務（総会・研修会開催、調査・名簿作成等）、ラジオ体操の普及などの事務を実施した。

2 幼児期からの運動習慣アップのための支援

2,809,052 円（2,779,000 円）

県内各地で誰もが幼児期に楽しく体を動かす「運動遊び」を経験でき、発達段階に応じた適切な援助を受けることができる環境の整備を図るため、公開保育形式によるモデル研修会及び、保育士、スポーツ指導者、行政担当者等による先進的な取組みや好事例の共有を図る保育・スポーツ連携会議（普及啓発セミナー）を開催するとともに、幼児期における「運動遊び」の普及啓発や保育者等への支援を担う地域の中核となる人材の養成を図るため、地域専門人材養成研修事業を実施し、12名の受講者のうち11名を修了者とした。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、モデル研修会等の参加者を長岡市内の保育士に限定したことから、モデル研修会等の動画を制作し、YouTube（限定公開）により県内の保育者・スポーツ指導者向けに公開した。

また、事業の企画立案及び効果的な実施方法等について専門的な見地から適切な助言を得るためのアドバイザー会議と地域専門人材養成研修成果検討会を令和3年3月29日に開催した。

（モデル研修会）

会場名	期日	会場	参加者数
長岡会場①	令和2年12月14日	長岡市浦体育館	22名
長岡会場②	令和2年12月22日	長岡市浦体育館	21名

（保育・スポーツ連携会議／普及啓発セミナー）

長岡会場①	令和2年12月14日	長岡市浦体育館	20名
長岡会場②	令和2年12月22日	長岡市越路支所	18名

VI 高等学校体育連盟への助成 337,173 円 (410,000 円)

(公財) 日本スポーツ協会のオフィシャルパートナーである大塚製薬(株)が実施する「推進費付き自動販売機設置事業」を活用し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を高等学校体育連盟へ助成金として交付した。

VII スポーツ少年団の育成 7,093,505 円 (14,287,000 円)

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団等との連携により諸事業を実施するとともに、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ少年団としての取り組みを実施した。また、広くジュニアスポーツの振興を図るため、関係団体との連携を促進するとともに、「いじめ見逃しゼロ県民運動」にも取り組んだ。

1 新潟県スポーツ少年団の運営及びスポーツ少年団登録の促進

6,488,930 円 (7,937,000 円)

(1) 新潟県スポーツ少年団の運営

ア 登録数の拡大促進

市町村スポーツ少年団の設置促進及び登録者(団員・指導者・役員・スタッフ)の維持・増加を目指したが、感染症による活動休止等の影響により登録者数は大幅に減少した。

① 令和2年度市町村設置状況

29 市町村(未設置:出雲崎町)

② 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
単位団	565 団	△49 団
指導者	1,922 名	△1,179 名
単位団役員・スタッフ	828 名	—
県・市町村役員・スタッフ	218 名	△99 名
団員 (男女内訳)	9,845 名 男子 6,767 名 女子 3,078 名	△1,961 名 △1,351 名 △610 名

※単位団役員・スタッフは令和2年度から新設

イ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」(1万7千部)を発行するなど、広報と情報提供を推進した。

ウ 顕彰の実施

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰 単位団 指導者	6団 4名
日本スポーツ少年団顕彰 市町村 指導者	村上市、小千谷市 3名

エ 諸会議の開催及び参加

新潟県スポーツ少年団の関連会議(総会、正・副本部長会議、表彰選考委員会、11専門部会)を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに、日本スポーツ少年団の諸会議及び北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会理事会に参加した。

会議名	期日	会場
第1回総会	令和2年6月12日	書面決議
第2回総会	令和3年3月9日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

2 事業の実施 604,575円(6,350,000円)

(1) 広域(地域)活動の支援 144,064円(250,000円)

中越及び下越の地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

なお、上越地区連絡協議会が予定していた事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(2) 第40回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会の開催

375,116円(2,758,000円)

開催競技	会期	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン、柔道、空手道、軟式野球、サッカー、バレーボール、少林寺拳法、ミニバスケットボール	令和2年4月25日 ～11月23日	開催中止	

(3) 北信越ブロック事業の開催又は参加 30,165 円 (1,453,000 円)

大会名	会期	開催地	参加者数
第 51 回北信越ブロックスポーツ少年大会	令和 2 年 9 月 5 日 ～ 6 日	開催中止	
第 40 回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (ミニバスケットボール、 バドミントン、卓球)	令和 2 年 9 月 26 日 ～ 27 日	開催中止	
同上 (バレーボール)	令和 2 年 11 月 7 日 ～ 8 日	開催中止	
第 42 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会	令和 2 年 7 月 4 日 ～ 5 日	開催中止	

(4) 全国スポーツ少年団交流大会等への派遣 949 円 (244,000 円)

大会名	会期	開催地	参加者数
第 58 回全国スポーツ少年大会	令和 2 年 7 月 31 日 ～ 8 月 3 日	開催中止	
第 43 回全国スポーツ少年団剣道交流大会	令和 3 年 3 月 26 日 ～ 28 日	開催中止	
第 18 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	令和 3 年 3 月 26 日 ～ 29 日	開催中止	

(5) 国際交流活動の実施 1,193 円 (310,000 円)

事業名	期間	派遣 (受入) 先	人数
第 47 回日独スポーツ少年団同時交流 北信越事前研修会	令和 2 年 6 月 6 日 ～ 7 日		
派遣	令和 2 年 7 月 27 日 ～ 8 月 6 日	開催中止	
受入	令和 2 年 8 月 12 日 ～ 16 日		

(6) 指導者の養成と資質向上の促進 53,004 円 (626,000 円)

事業名	期日	会場	参加者数
スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター移行研修会	令和 2 年 10 月 ～11 月	開催中止	
スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター養成講習会	令和 2 年 11 月	開催中止	
スタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会	令和 2 年 6 月 13 日 ～10 月 11 日	開催中止	
新潟県スポーツ少年団指導者研修会	令和 2 年 12 月 12 日	開催中止	
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	令和 2 年 11 月 21 日	開催中止	
第 3 回ジュニアスポーツフォーラム	令和 2 年 6 月 28 日	開催中止	
幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会	(普及講習会) 令和 2 年 11 月 23 日	三条市体育文化会館	41 名
	講師講習会 令和 2 年 9 月 19 日～ 11 月 1 日	東京都、京都府、福岡県	オンライン 参加 2 名
	(講師講習会受講修了者ブラッシュアップセミナー) 令和 2 年 10 月 25 日 ～12 月 12 日	東京都、福岡県、広島県	県からの参加者なし

(7) リーダーの育成 84 円 (709,000 円)

事業名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ少年団リーダー研修会	令和 2 年 4 月 19 日	開催中止	
全国スポーツ少年団リーダー連絡会	令和 2 年 6 月 27 日 ～28 日	開催中止	

シニア・リーダーズ クール	令和2年9月19日 ～22日	開催中止
ジュニア・リーダー スクール	令和2年8月8日 ～10日	開催中止
北信越ブロックス ポーツ少年団リー ダー研究大会	(研究大会) 令和2年10月26日 ～27日 (事前会議) 令和2年9月5日 ～6日	開催中止

(8)「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けた取組み

日本スポーツ少年団と連携して、フェアプレーの推進や全国一斉活動（清掃・美化活動等の社会貢献活動）などを推進した。

Ⅷ 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営

176,860,328円（181,047,000円）

指定管理者として本施設の機能を十分活用し、適切有効に管理運営するとともに、本県の競技水準の向上と県民の健康づくり活動の支援を行った。

なお、感染症の影響により一部の事業を中止した。

1 事業の実施

(1) 競技水準向上事業 64,451,858円（72,347,000円）

競技者及び指導者等に医学的な根拠に基づいた測定・分析・診療を通してトップアスリートの育成支援を行った。

ア 体力測定の実施

体力測定の意義・重要性について、県民や関係競技機関・団体への理解を深める働きかけを行い、利用促進に努めた。

イ 動作分析の実施

利用者それぞれのニーズに適した分析内容を提案するとともに、利用者拡充を目的に出張対応等を行い、継続利用の個人・団体の利用促進及び小・中学ジュニア選手の新規利用の拡大を図った。

ウ 競技力向上相談の実施

体力測定や動作分析等の結果を基に、新たなトレーニング方法の導入や、トレーニング、スポーツ栄養、スポーツメンタル等について専門職がサポートを行った。

エ スポーツ医科学サポート補助事業

国体候補選手及びジュニア選手等が実施する体力測定及び動作分析の測定料金の補助を行った。

内 容	利用者数
体力測定	486 名
動作分析	293 名
競技力向上相談	885 名
合 計	1,664 名
内スポーツ医科学サポート補助	682 名

(2) 診療所の運営 47,703,561 円 (40,742,000 円)

新型コロナウイルスの感染防止と医療安全管理指針に基づいた安全・安心な医療を実施するため、新潟大学大学院医歯学総合研究科と県内医療機関との病診連携により診療を行った。

ア 内科

体力測定及び生活習慣しっかり改善コース、個別プログラムサービス受講者の医学検査を実施した。

イ 整形外科・リハビリテーション科

スポーツによる障害・外傷を対象とした外来診療と復帰に向けたリハビリテーションを実施した。

内 容		利用者数
内 科	体力測定医学検査	385 名
	健康づくり医学検査	96 名
	小 計	481 名
整形外科外来診療		1,564 名
リハビリテーション外来診療		1,146 名
自主事業内科外来診療		215 名
合 計		3,406 名

(3) 健康づくり実践指導事業の実施 28,623,506円(24,425,000円)

県内の健康づくり活動の普及、指導者の育成を目的に、健康づくり実践指導事業(生活習慣しっかり改善コース・親子健康づくりプログラム)を実施した。

ア 生活習慣しっかり改善コースの実施

健康づくりのモデルコースとして実施し、有益なデータや取り組み事例を蓄積・発信した。

イ 親子健康づくりコースの実施

親子が絆を深めながら一緒に学べるモデルコースとして、健やかな生活習慣の基礎を確立できる「親子健康づくりプログラム」開発を目指し実施した。

ウ 健康づくり実践指導者研修(人材育成)の実施

改善コースと親子コースへのコース参加型と指導者ニーズ対応型の2つの研修実施により、健康づくり指導者の人材育成を図った。

エ 個別プログラムサービスの実施

健康の保持増進を目的に取り組みたい方を対象に、健康サポート個別コースとオプションメニューにより、健康づくり実践指導事業を補完し、継続的なフィットネスホール利用の促進を図った。

オ 健康づくりのための運動指導者研修会の開催

生活習慣病予防対策として運動習慣の普及・定着を推進するため、研修会を開催し、健康づくり指導者等の資質の向上を図った。

カ ケアコンディショニング講習会

児童・生徒に対し、健康的な生活を送るための基礎となる栄養・運動・休養の講義や学校部活動に活用できるケガをしないための身体ケアの方法や基礎体力づくりの具体的な実技の講習会を実施した。

内容	参加者数
生活習慣しっかり改善コース	415名
親子健康づくりコース	46名
健康づくり実践指導者研修	126名
個別プログラムサービス	328名

健康づくりのための運動指導者研修会	室内運動指導者研修会	43名
	水中運動指導者研修会	14名
ケアコンディショニング講習会		30名
合 計		1,002名

(4) 施設一般利用 26,343,192円 (37,496,000円)

ア フィットネスホールの利用

複数種類のフリーパス券の提供や、各種事業との連携、利用者ニーズの対応等により、長期的、継続的な利用を促進した。

イ 研修室等の利用

デンカビッグスワンスタジアムとの連携等により、県民に対するセンター研修室等の認知度を高め、利用拡大を図った。なお、新型コロナウイルス感染対策により、トキめき広場を閉鎖した。

内容	利用者数
フィットネスホール	12,355名
研修室等	1,446名
トキめき広場	0名
合計	13,801名

(5) スポーツと健康づくりの情報発信 6,305,203円 (4,770,000円)

県民の利用拡充を図るため、利用者のニーズを踏まえた環境整備を随時行うとともに、ウェブサイトのリニューアルを行い、広報媒体等を活用し情報発信を行った。

また、年報、パンフレット、チラシを作成した。

(6) 県民講座の開催 3,433,008円 (1,267,000円)

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室、専門者向けの講習会等を開催し、県民の知識・技術の習得を促進した。

内 容	参加者数
一般講座	330名
専門講座	104名
にぎわいイベント	開催中止
合計	434名

B 収益事業 2,638,919 円 (5,137,000 円)

本施設の研修室等利用のうち公益目的に該当しない利用目的で貸出している研修室等について管理運営を行った。

内容	利用者数
研修室等	541 名

C 法人事業

1 県スポーツ協会の運営 18,530,390 円 (24,551,000 円)

スポーツの普及・振興、競技力向上等の推進にあたり、関連団体の業務や事務局業務を担いながら新潟県の総合的なスポーツ振興に取り組んだ。

<事務局を担っている関連団体>

- ・新潟県広域スポーツセンター
- ・新潟県スポーツ少年団
- ・新潟県社会人スポーツ推進協議会
- ・公益財団法人スポーツ安全協会新潟県支部
- ・新潟県体育施設協会
- ・新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

2 諸会議の開催

(1) 理事会及び評議員会

会議名	期日	会場
定時評議員会	令和2年6月24日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
臨時評議員会	令和3年2月10日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
臨時評議員会	令和3年3月26日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
理事会 第1回	令和2年6月12日	書面決議
第2回	令和2年6月24日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第3回	令和2年12月17日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第4回	令和3年3月12日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

(2) 専門委員会

委員会名	期日	会場
総務・財務委員会	令和3年1月18日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
生涯スポーツ委員会	令和3年1月18日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

3 加盟団体等との連携強化

加盟団体、県や市町村のスポーツ行政等その他関係機関との連携強化及び親睦交流を深めるため、開催を予定していた下記事業は開催を中止した。

事業名	期日	会場
加盟団体連携会議	令和2年4月20日	開催中止
ゴルフ大会	令和2年7月17日	開催中止
新年会	令和3年1月16日	開催中止